



過剰なアフターサービスには要注意

1 長期保証は本当に「安心」?



フロアコーティングの保証は10～30年。施工不良が本来の対象だが、近年は過剰なサービスを謳う業者も見受けられます。

2 「無償補修・訪問」の現実性



年1回の無料点検や、保証期間中の顧客過失による傷の無償補修。これらは魅力的ながら、現実的なサービスか疑問視されております。

3 見落とされがちなりリスク



過剰なサービスは短期的な安心感をもたらすが、長期では点検訪問やコスト増で経営を圧迫し、運営困難となるリスクがあります。

4 無償対応は利益を圧迫する



無償の点検や補修は売上にならず、対応には多くの人員と高額な人件費がかかるため、経営を圧迫する可能性があります。

5 他業界の失敗例に学ぶ



家具業界は無償保証、アパレル業界は無料返品でコストが増大し、過剰な無料サービスが原因が資金繰り悪化となり倒産した例も。

6 本当に必要な保証とは?



長期保証は提供企業の存続が前提です。「毎年点検」等の言葉だけでなく、企業の信頼性を見極めることが重要です。

7 倒産時の重大な影響



重大な影響 施工業者が倒産すると保証は無効です。他社での補修はコーティング剤が異なり、再施工費用はお客様負担となる場合があります。

8 本当の保証とは



お客様が必要な時に、確実な対応が実施可能で、不要な点検や過剰な無償対応を省き、不具合発生時に迅速に対応可能な体制であると考えます。

9 見極めるべきは「実現可能な保証制度」

当社は、(一社)日本ハウスコーティング協会の正会員です。自社の万一の場合にも備え、協会が保証やアフターサービスを引き継ぐ体制を構築しています。フロアコーティング業者を選ぶ際は、保証内容に加え、経営基盤、誠実さ、業界連携体制も重要です。当社は「お客様第一」を考え、無理のない保証制度のもと長く安心できるサービスを提供いたしております。



会員番号：003